平成26年度 予算審査のあらまし

平成二十六年度一般会計予算及び十特別会計予算（総額二千五百二十一億一千三百三十一万八千円）並びに議案第五十四号「藤沢市執行機関の附属機関に関する条例の一部改正について」ほか二議案、計十四議案は、三月五日に設置された予算等特別委員会において九日間にわたり審査が行われました。

その結果、三月十八日の本会議で全て可決されました。

ここでは、予算等特別委員会の審査の概要をお知らせいたします。

子宮頸がんの予防

ワクチン接種後の後追い調査を実施

結果を公表し、不安感の解消を図る

質問　子宮頸がんワクチン予防接種事業について、今後、接種後の後追い調査を行うとのことだが、調査の実施を決めた理由と実施方法について聞きたい。

答弁　後追い調査については、二月二十六日に開催された国のワクチン予防接種の副反応検討部会で、積極的な接種の再開について結論が持ち越されたこと、補正予算常任委員会の審査の中で、後追い調査実施について要望を受けたこと等を踏まえ、これから接種を受ける方の不安感の解消や既に接種した方への相談の場の提供等といった観点から、調査の実施と結果の公表が必要との結論に達した。

対象者は、接種した方全員で、約七千人に対し四月以降に調査票を送付する。調査内容は、先例市の内容を確認した上で、今後具体的な項目を検討する。

「チャレンジⅡ」相談風景＝湘南C－X内 アイクロス湘南

アプリコンテスト 今秋に実施予定

質問　スマートフォンアプリコンテストを今年の秋頃を目途に実施するとのことだが、どのようなアプリを募集する予定なのか。

答弁　コンテストは、オープンデータの活用と地域経済の発展を目的とし、どのようなデータを活用すれば、どのようなサービスが創出されるのかという観点での募集を想定しており、現在のところ特定のジャンルでの募集は考えていない。

質問　防災ナビやシティプロモーション等にも活用できると考えるが、どうか。

答弁　今回募集するアプリについては、観光、産業振興など藤沢の魅力を発信するシティプロモーションの観点もあわせていきたいと考えており、市民や観光客に日ごろから使ってもらうことを想定している。また、災害時には災害モードとして、市民等に適切な情報伝達できるような機能を備えたアプリを募集していきたいと考えている。

保健師の相談員を増員

高次脳機能障がい者相談支援

専門的な相談体制の強化を図る

質問　高次脳機能障がい者相談支援事業所「チャレンジⅡ」の開設から一年が経過したが、利用状況と課題について聞きたい。

答弁　「チャレンジⅡ」の平成二十五年度の利用実績としては、四月から一月までに延べ七百八十人の利用があった。

課題としては、外出が困難な方が多いため、可能な限り相談員が出向いて相談を行う体制が必要だと考えている。

質問　相談支援について、二十六年度の具体的な取り組みを聞きたい。

答弁　二十六年度は、保健師の相談員を一名増員する予定である。また、保健医療センターの理学療法士を「チャレンジⅡ」に月一回派遣し、専門的な相談体制の強化に努めたいと考えている。医療職である保健師、理学療法士を加えた相談が可能となり、医療との連携が強化されると考えている。

小規模契約簡易登録 利用促進を図る

質問　小規模契約簡易登録制度について、登録業者が受注した件数及び金額が、平成二十五年度は二十四年度と比較して、ともに増加したとのことだが、その要因について聞きたい。

答弁　職員の端末に、課別の本制度の利用状況を掲示し、利用に関する喚起を行ってきた。また、市場の適正価格の把握のために行う見積もり徴取についても、通常三社以上で行うところ、本制度の登録事業者については、一社だけでも可能とした。これらが増加の要因と考えている。

質問　さらに本制度を実効性あるものとするための取り組みについて聞きたい。

答弁　地域経済の活性化のためには、小規模事業者の育成を図る必要があると認識しており、小規模事業者の受注機会が増大するよう、これまでの取り組みを継続するとともに、さらに職員への意識啓発等を行い、本制度の利用促進を図っていく。

新庁舎の整備事業費 縮減に向け見直しを

質問　新庁舎の整備について、当初見込んでいた百二十億円の事業費が、現段階で百八十八億円に膨らんでいる。できる限り事業費を縮減するため見直しが必要と考えるが見解を聞きたい。

答弁　新庁舎の整備事業費については、当初、地下階は設けない方針を前提に、必要となる面積を把握し、これをもとに他市における実単価を掛けて算出したものである。

その後、市民の要望を踏まえ、必要なものは取り入れるとともに、国道四六七号線からの出入りのため地下階を設置することとした。ことにより、基本設計の段階で百八十八億円の事業費となったものである。

今後、オリンピック開催に伴い、労務費や建設資材費が上がる可能性もあるが、実施設計の段階でも面積の縮小などを検討し、経費縮減に引き続き取り組みたい。

ロボットスーツ 着用訓練に助成

質問　地域生活支援事業としてロボットスーツ着用訓練助成事業が新設されるが、どのような目的で導入するのか聞きたい。

答弁　ロボットスーツ着用訓練を行う湘南ロボケアセンターは、さがみロボット産業特区のシンボル施設として、平成二十五年十二月に開設した国内最大規模の施設である。この地域資源を生かし、身体障がい者への外出機会の提供や運動不足の解消等といった健康増進を目的として事業化した。

質問　本事業の詳しい内容を聞きたい。

答弁　対象者は下肢に障がいのある身体障がい者手帳の一級から三級を取得している方で、一人当たり十回の訓練を助成の上限とする。本市の約千五百人の対象者のうち、初年度は一割程度の方が利用するものと考え、百五十人分を予算化したものである。

平成26年度予算等特別委員会委員

委員長	本塚昌紀
副委員長	戸宮光俊
委員	屋土則和
〃	川市広礼
〃	脇原子輝
〃	口山雄幸
〃	矢大雄
〃	田柳徹
〃	田友憲
〃	藤武秀
〃	原栗宗
〃	田吉也
〃	野大人
〃	正夫
〃	義基
〃	淳紀
〃	美

人権擁護委員候補者の推薦等に同意

○人権擁護委員候補者の推薦について

藤沢市域の人権擁護委員の二人が平成二十六年六月三十日をもって任期満了となるため、新たな候補者を推薦することについて、議会の意見を求めるもの。

議会はこれに同意した。

任期は二十六年七月一日から二十九年六月三十日までの三年間。

・櫻井光雄氏（再推薦、遠藤在住）

・桒山直子氏（新規推薦、白旗三丁目在住）

○藤沢市個人情報保護審査会委員の委嘱について

藤沢市個人情報保護審査会委員が平成二十六年三月三十一日をもって任期満了となるため、次の五名を委員に委嘱することについて、議会の意見を求めるもの。

議会はこれに同意した。

任期は二十六年四月一日から二十八年三月三十一日までの二年間。

・小林純二郎氏（再任、鵠沼桜が岡三丁目在住）

・小澤弘子氏（再任、鎌倉市在住）

・篠崎百合子氏（再任、鎌倉市在住）

・田中則仁氏（再任、横浜市在住）

・吉田眞次氏（再任、横浜市在住）

議員全員協議会を開催

（仮称）新たな市政運営の総合的な指針等について報告

議員全員協議会は、一月三十日に開催され、善行地区における地域コミュニティ活動事業用地取得に関する関係者の刑事告発の結果について及び（仮称）新たな市政運営の総合的な指針についてそれぞれ報告を受け、これらに対し、質疑を行った。

○善行地区における地域コミュニティ活動事業用地取得に関する関係者の刑事告発の結果について

〈市の説明〉

本件については、平成二十五年六月定例会の総務常任委員会で報告したとおり、同年四月十九日付で神奈川県警察に関係者を告発した。その後、十二月二日に県警察から横浜地方検察庁に書類送検され、その結果について、二十六年一月二十一日に横浜地方検察庁から処分通知書が送付された。また、同日付で不起訴処分理由告知書の交付を受けた。

処分通知書の内容については、処分年月日は二十六年一月十七日、処分区分は不起訴である。不起訴処分理由告知書には、不起訴処分の理由は嫌疑不十分と記載されている。

捜査の過程を経ても、善行地区における事業用地取得の真の理由が明らかにならなかった点については非常に残念であるが、捜査機関における懸命な捜査の結果であるため、市としても受け止めたいと考えている。

○（仮称）新たな市政運営の総合的な指針について

〈市の説明〉

（仮称）新たな市政運営の総合的な指針について、最終案では、名称を「藤沢市市政運営の総合指針２０１６～郷土愛あふれる藤沢をめざして～」とした。

内容としては、めざす都市像と基本目標を定め、都市像の実現に向け、喫緊の課題に対応する重点施策を位置づけ、その実現に必要な事業として緊急性や財政見通しを考慮した上で、百の重点事業と十の長期的に取り組む重要案件を選定している。

今後は、指針の第一章基本方針については、新総合計画基本構想廃止の議案とともに、二十六年二月定例会において議案として提出し、事業については、二十六年度予算案との最終調整を行った上で、重点事業等の関係を予算の概況において示すことができるよう作成していく。また、指針は、事業集、資料集を含めた冊子として二十五年度中の作成を予定している。